

中学校 国語B 2三 正答率 27.3%

指導のねらい

資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

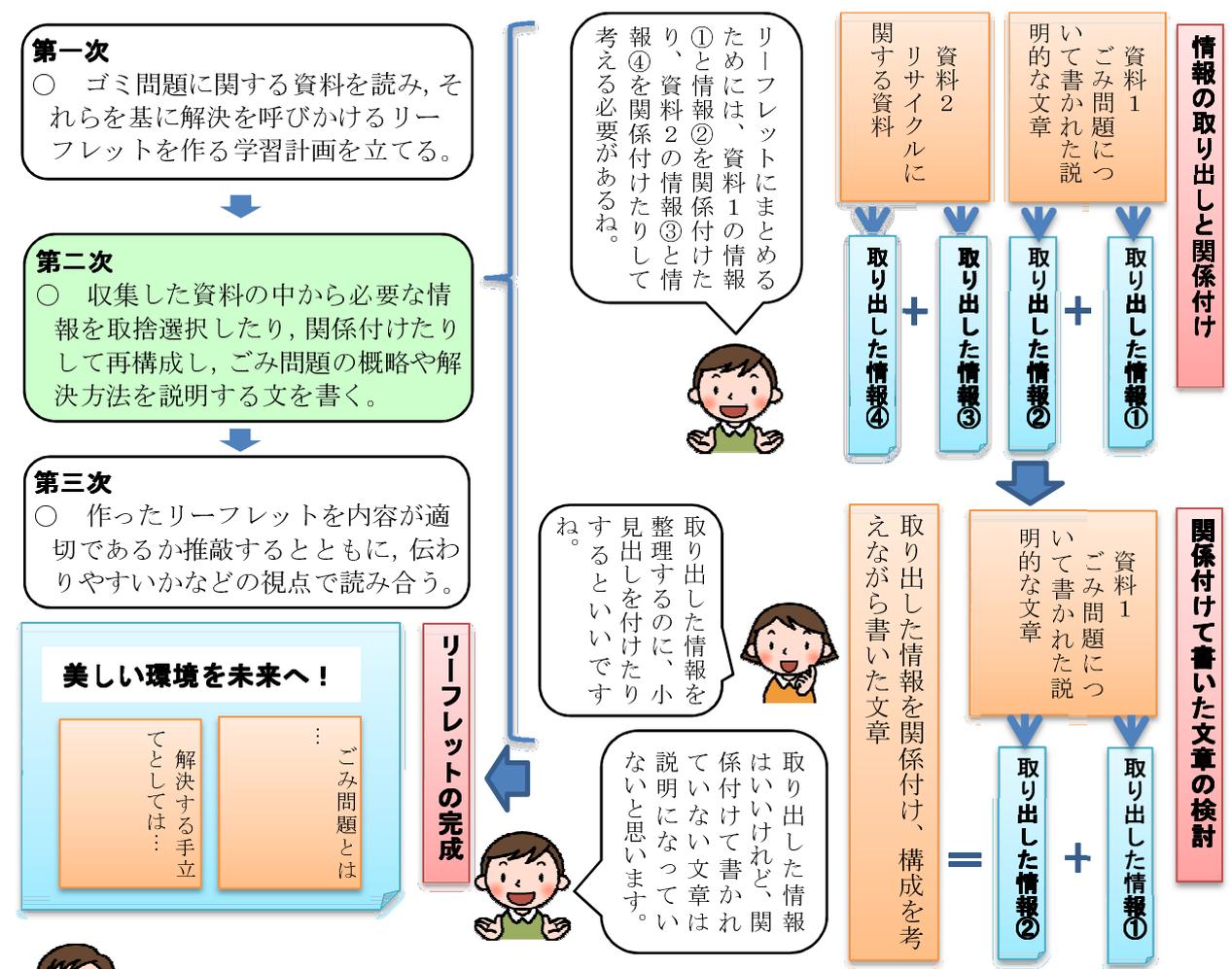
- B2三 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く。正答率 27.3% (全国 28.4%)
- ① 切手を水の中にしばらく浸しておくときれいにはがすことができる理由を適切に書いている。
 - ② 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書いている。
 - ③ 二十字以上、五十字以内で書いている。
- 特に多かった誤答類型は、条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもので、52.2%であった。
例) 「切手を水に浸すとアンカー効果が、固体から液体になるから」

学習指導要領における領域・内容

- [中学校第1学年] 書くこと ウ
伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
[中学校第2学年] 読むこと オ
多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。

授業アイデア例

例 複数の情報の内容を正確に捉え、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして再構成し、書き換えて説明することが求められる単元を設定する。



説明する際には、複数の情報の内容を正確にとらえ、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして記述することが求められます。国語科の学習の中で、このような点に留意した機会を設けることが大切です。